

校長印	教頭印	教頭印

「課題研究」シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
課題研究	2	3	全	必修	国際経済科

1. 目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2. 内容

(1) 調査，研究，実験

(2) 作品製作

「海外研修旅行」事後学習として、パワーポイントを使用して「旅行体験記」を製作し、報告することで、プレゼンテーション能力を高める。

(3) 産業現場等における実習

職業観・勤労観などを育成し、自己の特性と将来の進路との関連についても認識を深めさせる。

(4) 職業資格の取得

これまで学習した知識・理解の習得を確認しながら、上級の資格・特殊な資格の取得を目指す。

本学科では上記内容の(2)(3)(4)を課題研究の内容としている。

3. 成績評価

出席	日誌・態度	定期考査・提出物	資格取得
20%	30%	30%	20%

4 授業の展開と形態

資格取得の課題設定を生徒自ら行い、普通教室で学習できる課題(簿記・英語・商業経済・電卓など)とコンピュータ教室で学習する課題(情報処理・ワープロ)とに分かれて授業をおこなう。担当者は2名となる。また、進学を目指した学科であるため、小論文の学習を推奨する。

5. 学習計画

月	配当	課題・目標(大単元)	学習内容・要点
4	4	オリエンテーション 1.学習要項・学習日誌作成 2.課題研究の意義 学習目的	① 課題の設定と学習計画の立案は生徒自らが行い、問題を解決する学習方法によって計画性、実践力、問題解決能力を身に付ける。 ② 自主的・継続的に学習する姿勢と、探求的・創造的態度を身に付ける。 ③ 各教科・科目での学習内容を総合化し、さ

		<p>学習内容</p> <p>学習の進め方及び計画</p> <p>学習評価</p> <p>3.グループ編成</p> <p>4.日誌記入</p>	<p>らにそれを深化させることを求める。</p> <p>① 調査, 実験, 研究 ②作品製作 ③産業現場等における実習 ④職業資格の取得</p> <p>① 「課題研究」用の教科書はない。</p> <p>② 学習する内容を自分自身で決める。</p> <p>③ 個人またはグループで学習する。</p> <p>④ 学期毎に学習計画を立案する</p> <p>⑤ 学期毎に学習成果のまとめと報告書の提出をする。</p> <p>⑥ 学習成果の報告・発表会を行う。</p> <p>学期毎に次の検定科目の中から2～3の検定取得を課題に設定する。</p> <p>簿記 電卓 英語 ワープロ 情報処理</p> <p>課題解決に向けて, 自発的・創造的にいかに努力したかという, 学習の過程や学習の姿勢が大切となる。</p> <p>2グループの編成とする。</p> <p>日誌は評価の対象とし毎時間提出する。また, 毎時間の評価を行う。</p>
5	6	作品制作 「海外修学旅行報告会」に向けて	<p>パワーポイントを使用して海外での体験を後輩に紹介する。</p>
6	8	作品制作	
7	6	作品制作発表	
9	10	作品制作発表	
10	8	資格取得 小論文対策	<p>資格取得の学習は「作品製作」や「職場実習」のそれぞれの課題のない時間（合間をぬって）または, 検定前に集中して行う。</p>
11	8	小論文対策	<p>進学に向けて各自小論文学習を行う。</p>
12	8	小論文対策	<p>進学に向けて各自小論文学習を行う。</p>
1	8	進路決定報告	<p>進路決定のレポートを作成し, 後輩への報告会を行う。</p>
2	4	卒業文集作成	<p>高校生活で学んできたことを文集にする。</p>